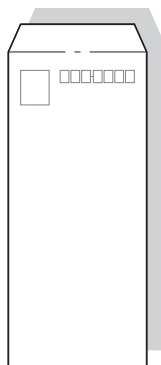


# 封筒に印刷する



封筒に印刷する場合は、アプリケーションから印刷するときにはプリンタードライバーのプロパティ画面の「給排紙」タブ画面で「紙種」と「用紙サイズ」を選択します。

## ⚠ 注意

- 特殊紙の印刷時、用紙によっては不快に感じる臭いが発生する場合があります。狭い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うときは、換気や通風を十分に行ってください。

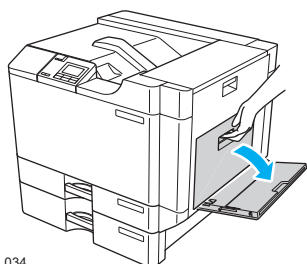
種類	サイズ (mm)	推奨品名 (商品コード)	セット枚数
封筒	長形3号 (120 × 235)	ハート ケント 80g/m <sup>2</sup> (白) 長形 3号 ハート レーザー専用封筒 (白) 長形 3号	GE6000シリーズ 手差し : 10枚
	長形4号 (90 × 205)	ハート ケント 80g/m <sup>2</sup> (白) 長形 4号	
	洋形1号 (120 × 176)	ハート 甲陽 洋形 1号	GE6000シリーズ 手差し : 5枚

## ⊗ 注意

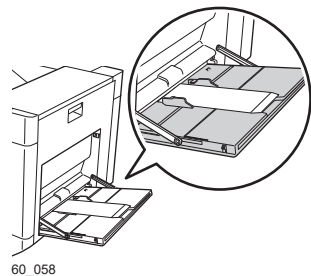
- 封筒の種類やサイズ、印刷時の状況によってはしわが発生する場合があります。
- 封筒の裏面には印刷できません。紙づまりの原因になります。
- 次のような封筒には印刷できません。紙づまりや故障の原因になります。
  - 開封口にのりがついている封筒
  - 窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
  - 箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
  - 大きく反った封筒
  - 二重（内張りがある）封筒
- 洋形1号などのフラップを折り返してセットする封筒は、フラップの状態により印字位置の精度が他の封筒より悪くなる場合があります。

## 手差しトレイへの用紙セット

### 1-a. GE6000 シリーズの場合



1. 手差しトレイを開けます。

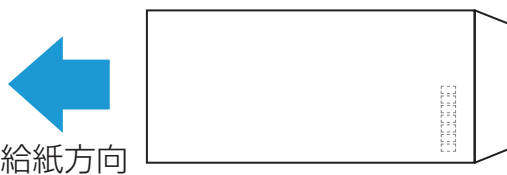


60\_058

## 2. 手差しトレイに封筒をセットします。

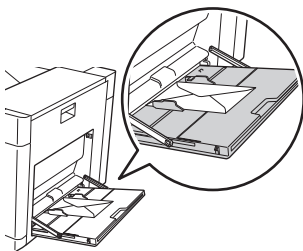
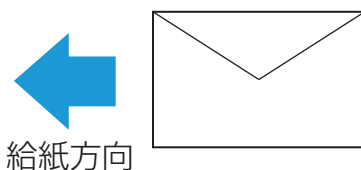
長形3号／長形4号

印刷する面を下向きにして、フラップを開けてセットします。一度にセットできるのは 10 枚までです。



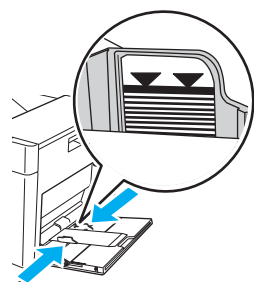
洋形1号

印刷する面を下向きにして、フラップを閉じてセットします。一度にセットできるのは 5 枚までです。



60\_059

## 3. 左右の横ガイドを、用紙の端にぴったり当たるように調整します。



### ポイント

- 横ガイドと用紙の間にすきまがあると斜め送りや紙づまりの原因となります。

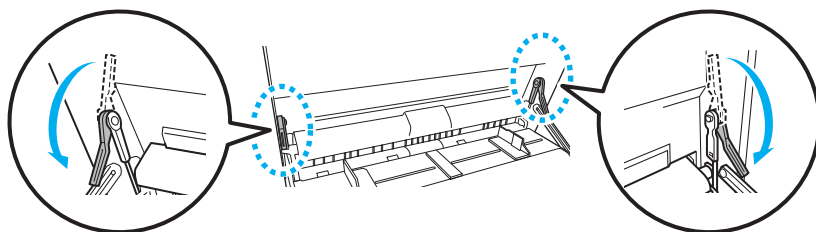
## 給紙がうまくいかないときは…

正面側と背面側の給紙圧変更レバーを操作してください。

### ⊗ 注意

- 正面側と背面側の給紙圧変更レバーは、両側同じ状態で使用してください。片側が倒れ、片側が起きている状態で給紙すると、斜行や紙づまりの原因になります。

特殊紙を給紙する場合：給紙圧変更レバーを倒す

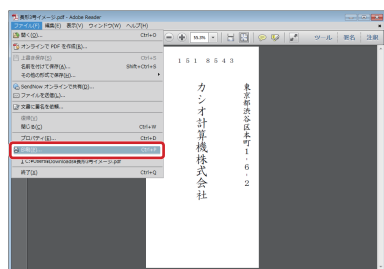


(適応紙種)・厚紙 (129 ~ 256g/m<sup>2</sup>)

- ・はがき、封筒、特殊紙
- ・普通紙、厚紙で手差しトレイからの給紙がうまく行かない用紙

# 印刷する

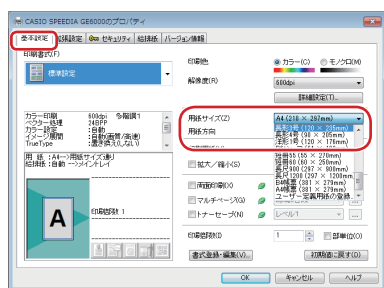
プリンターの機種により表示される画面が異なりますが、基本的な操作は同じです。



60\_0073

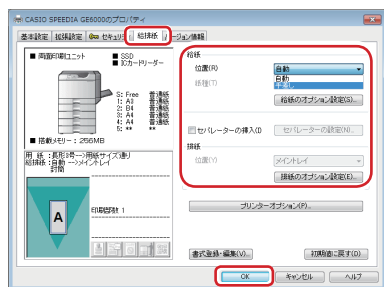
1. 次の手順で、プリンタードライバーのプロパティ画面を表示します。

- (1) 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。
- (2) 「プリンター」から印刷する機種名を選択します。
- (3) 「プロパティ」ボタンをクリックします。



60\_0074

2. 「基本設定」タブ画面の「用紙サイズ」で、「長形3号（120×235mm）」「長形4号（90×205mm）」または「洋形1号（120×176mm）」を選択します。

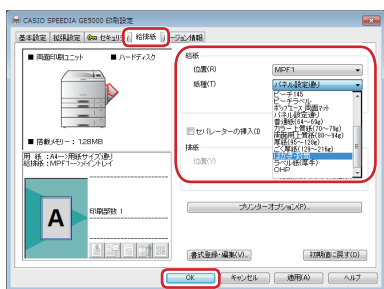


60\_0075

3. 「給排紙」タブをクリックします。

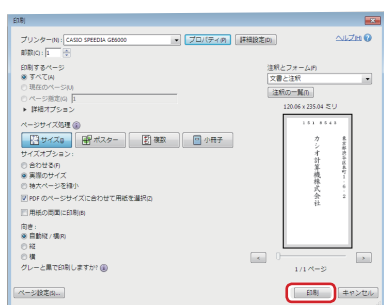
4. 「給紙位置」を次のように設定して、「OK」ボタンをクリックします。

- ・「給紙位置」で「手差し」を選択します。



5. 「紙種」を次のように設定して、「OK」ボタンをクリックします。

- ・「紙種」で「封筒」を選択します。



60\_0076

6. 「印刷」ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。